

肺炎球菌感染症（高齢者がかかるものに限る。）の接種対象者について

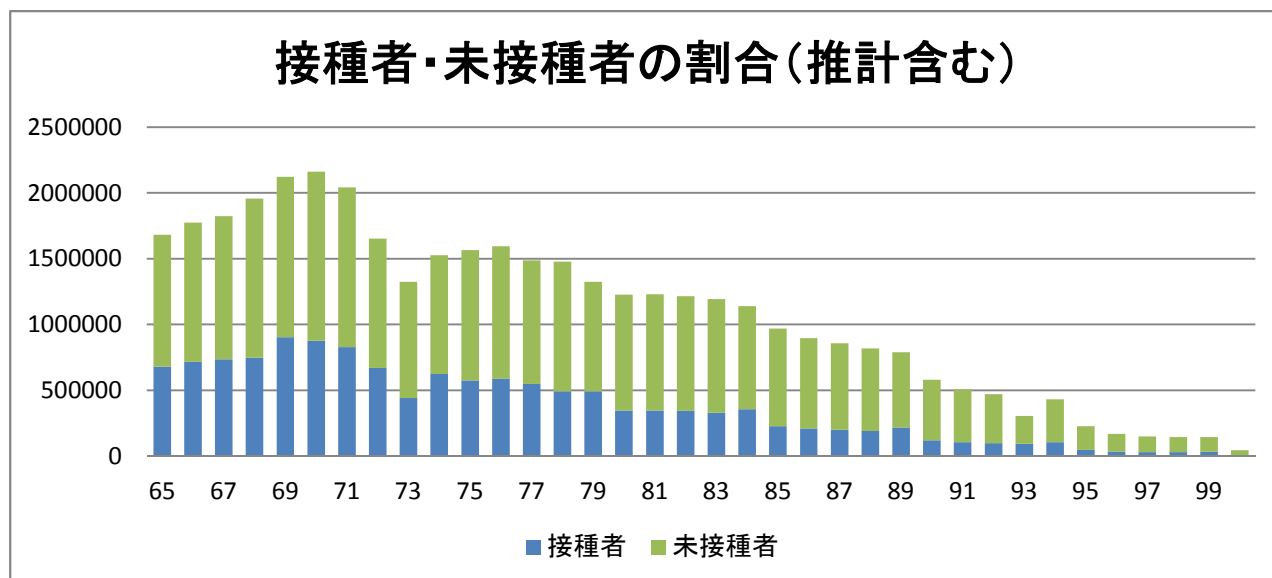
経緯

- 平成 22 年 7 月 第 11 回感染症分科会予防接種部会において、「肺炎球菌ポリサッカライドワクチン（成人用）に関するファクトシート」が報告された。
- 平成 23 年 3 月 第 6 回感染症分科会予防接種部会ワクチン評価に関する小委員会において、「肺炎球菌ポリサッカライドワクチン（成人用）作業チーム報告書」および「ワクチン評価に関する小委員会報告書」が報告された。
- 平成 26 年 5 月 第 9 回ワクチン分科会予防接種基本方針部会において、「平成 31 年度以降の接種対象者については、経過措置対象者の接種状況や接種記録の保管体制の状況等を踏まえ、改めて検討する」とされている。
- 平成 26 年 10 月 高齢者の肺炎球菌感染症が定期の予防接種の B 類疾病に追加された。
- 平成 29 年 9 月 第 19 回予防接種基本方針部会において、平成 31 年度以降の定期接種の対象者について議論するにあたり、下記の方針で進めることについて了承された。
- ・ 平成 31 年度以降の定期接種の対象者について、技術的な観点から、ワクチン評価に関する小委員会において検討を行う。
 - ・ 同小委員会において検討を行うにあたり、国立感染症研究所に、改めて肺炎球菌ポリサッカライドワクチンに関するファクトシートを作成頂く。
- また、13 価結合型ワクチンについても、ある程度内容を含めるべきとの意見があり、国立感染症研究所とも内容を相談していくこととなった。
- 平成 30 年 5 月 国立感染症研究所によって、23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンに関するファクトシートが作成された。

○ 接種率について

		65 歳相当	70 歳相当	75 歳相当	80 歳相当	85 歳相当	90 歳相当	95 歳相当	100 歳相当
H26 年度	接種者数	903, 804	624, 406	492, 306	357, 483	216, 844	105, 300	31, 949	6, 157
	接種率	42. 6%	40. 9%	37. 2%	31. 4%	27. 5%	24. 4%	21. 9%	12. 7%
H27 年度	接種者数	749, 073	441, 240	492, 203	330, 513	192, 150	94, 627	29, 487	5, 178
	接種率	38. 3%	33. 3%	33. 3%	27. 7%	23. 5%	21. 1%	20. 2%	10. 7%
H28 年度	接種者数	736, 802	670, 773	547, 497	343, 779	201, 398	98, 610	31, 049	5, 700
	接種率	40. 4%	40. 6%	36. 8%	28. 3%	23. 5%	20. 9%	20. 7%	11. 3%

○ 接種者数の推移（推計含む※）



※ 平成 29 年度については、65、70、75、85、90、95 歳人口に、平成 28 年度のそれぞれの接種率をそれぞれ乗じた値を推計値として記載した。同様に平成 30 年度については、64、69、74、79、84、89、94 歳人口に、平成 28 年度のそれぞれの接種率を乗じた値を推計値として記載した。

○ 自治体アンケートの結果について；別添資料参照

検討事項

以下の論点についてご議論頂きたい。

1. 肺炎球菌感染症（高齢者がかかるものに限る）に対して、審議会で検討の上、2016 年より 23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンの 1 回接種を定期接種に位置づけたところであるが、それ以降出された新たなエビデンスも含め、ファクトシートで整理していただいた。定期接種の再評価という観点から改めて、有効性、安全性、医療経済学的評価に関して、どのようなことが言えるか。
2. 平成 26 年 5 月の第 9 回ワクチン分科会予防接種基本方針部会において、「平成 31 年度以降の接種対象者については、経過措置対象者の接種状況や接種記録の保管体制の状況等を踏まえ、改めて検討する」とされているが、今後の接種対象者について、どのように考えるか。